

于 臣

① 研究業績

1. 著書 (1 件)

・『渋沢栄一は漢学とどう関わったのか—『論語と算盤』が会える東アジアの近代』(共著) ミネルヴァ書房、2017年2月、(編集者) 町泉寿郎

2. 訳書 (1 件)

『渋沢栄一と中国— 一九一四年の中国訪問』不二出版、2016年7月、(原書編集者) 田形

3. 学会発表、他

口頭発表 (8 件)

- ・『近代中国の孔教論と『論語と算盤』』于 臣、シンポジウム：『論語』と『算盤』が会える東アジアの近代—渋沢栄一と三島中洲、倉敷市立美術館、2017年1月
- ・“Zhang Jian and the Transfer of Western Business Methods through Japan into China”, The Business History Conference, Portland, Oregon, U.S.A. April 2016
- ・『『一気』の自然』からみる山田方谷の経世思想』于 臣、備中倉敷学 10 周年記念シンポジウム、倉敷公民館、2015年9月
- ・“Zhang Jian's Business Management from the Perspective of Shibusawa Eiichi's Gapon-shugi” YU Chen, 17th World Economic History Congress Kyoto2015, ICC Kyoto, August 2015
- ・「比較の視座から再考する渋沢栄一の『論語』読み—近代中国の孔教論を手掛かりに」于 臣、東アジア文化交渉学会第七回国際シンポジウム、神奈川県開成町、2015年5月
- ・「渋沢栄一「経済道徳一致説」への再考—武藤山治の実業論との比較を通じて」于 臣、東アジア日本学会、韓国・仁川大学校松島キャンパス、2014年5月
- ・“How Did Eiichi Shibusawa View China?” YU Chen, Association For Asian Studies 2014 Annual Conference, Philadelphia, U.S.A. March 2014
- ・“Zhang Jian and the transfer of Western business methods through Japan into China” YU Chen, 1st World Business History Conference, Frankfurt, Germany. March 2014

その他 (1 件)

- ・国際シンポジウムの司会
シンポジウム「長江（揚子江）経済圏の経済社会—過去・現在・未来」、渋沢史料館（東京）、2014年10月

② 学内活動

1. 学内委員

- ・教育開発・学修支援部会 (2016年4月～)
- ・男女共同参画推進センター運営委員会委員 (2014年4月～2015年3月)
- ・国際交流委員会委員 (2013年4月～)

2. 海外との連携に関する業務

- ・JICE と中日友好協会が実施した「日中青年～友好の歴史を探る旅～2016」プロジェクトの実施において、全学の中国語履修者を対象に選抜業務に携わった。また、日中両国の大学生の横浜市役所、山手中華学校での交流活動に参加した。